

## 複数台のタイムレコーダーを集約管理する方法

「サッと勤怠 with」では、1枚のタイムカード・複数台のタイムレコーダーで打刻した記録の集約する事や、タイムレコーダーごとの打刻管理を行わず、全打刻の記録を集約する事が可能です。

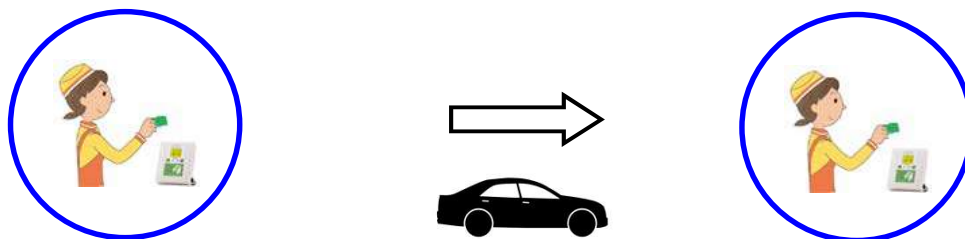
運用例については以下の通りです。

### ●従業員が複数台のタイムレコーダーで打刻を行う運用

#### 【運用例 1】

A 店で出勤打刻して業務、  
B 店での業務移動の為に外出打刻

B 店に到着で戻り打刻して業務、  
B 店で業務終了の為に退勤打刻



#### 【運用例 2】

日ごとで勤務する店舗が異なり、出退勤の打刻を行う



### ●従業員が同じタイムレコーダーで打刻を行う運用

#### 【運用例】

打刻するタイムレコーダーが個人で決まっており、出退勤の打刻を行う



## 集約管理する時の注意点

複数台のタイムレコーダーを集約は、タイムレコーダーの機種のご組み合わせ次第で、集約ができませんので注意が必要です。

加えて、集約するには、可搬型メモリで打刻データを収集する必要があります。

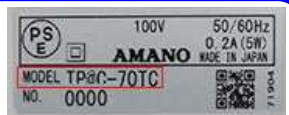
### <組み合わせ早見表>

1台目 \ 2台目以降	TP@C-70TC TP@C-700TC	TP@C-800IC TP@C-610IC TP@C-600IC	TP@-60TC TP@-60TC/S TP@-30 TP@-30S TP@-20 TP@-20S TP@-10	TP@C-600TC TP@C-500 TP@C-300	TP@C-20iC
TP@C-70TC TP@C-700TC	○	×	×	×	×
TP@C-800IC TP@C-610IC TP@C-600IC	×	○	×	×	×
TP@-60TC TP@-60TC/S TP@-30 TP@-30S TP@-20 TP@-20S TP@-10	×	×	○	×	×
TP@C-600TC TP@C-500 TP@C-300	×	×	×	○	×
TP@C-20iC	×	×	×	×	○

○:集約が可能です ×:集約が出来ません

### <機種の確認方法>

タイムレコーダーの側面・底面に貼っている銀色のシールから機種確認ができます。



## 集約管理する時に必ず行う事

「サッと勤怠 with」で打刻データを集約するには、「データ取込」画面で必ず、可搬型メモリの使用と[号機チェックをしない]にチェックを入れて、データ取込を行ってください。

[ナビ画面] ⇒ [データ取込]

<input type="radio"/> USBケーブルでタイムレコーダーと接続	
<input type="radio"/> Bluetoothでタイムレコーダーと接続	
<input checked="" type="radio"/> 可搬型メモリ(USBメモリ、コンパクトフラッシュ、又はSDカード)	
ドライブ指定	F:¥ <input type="button" value="v"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 号機番号チェックをしない	